

# 和顔愛語

題字 和顔愛語 揮毫 鬼北町立日吉中教諭 亀井 涼香 解説は3面



発行所  
公益財団法人愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年  
(公財)愛媛県教育会  
理事長 藤原 雅彦  
役員員一同

## 新たな出発！

先生方の支えに  
深く感謝しながら



公益財団法人愛媛県教育会  
理事長 藤原 雅彦

新年明けましておめでとうございま  
す。令和7年が始まりました。一年の時  
の流れが速く感じてしまうのは、私だけ  
でしょうか。

さて、今年の干支は乙巳(きのと・み)  
です。「乙」はしなやかに伸びる草木を表  
し、困難があっても紆余曲折しながら進  
むことを意味しています。一方、「巳」は  
脱皮し強く成長する蛇から「再生と変  
化」を意味します。これらを踏まえ、今  
年は、「努力を重ね、物事を安定させてい  
く」といった縁起のよい年になりそうです。

昨年は、令和6年7月25日(木)、26日(金)  
に第75回日本連合教育会研究大会愛媛大  
会を、Zoomを使い、一部対面というハ  
イブリッドで開催し、無事終了しました。

研究会の持ち方は、オンライン会議に  
も慣れてきたからこそできる研修の在り  
方があるのではないかとということから、  
ハイブリッドでの開催にしました。準備  
を進めるにあたり、機材の調達やZoom  
の契約、参加者へのZoomの情報提供  
等々、オンラインで開催することによる  
課題もたくさん出てきました。ですが、  
出てきた課題を一つ一つ解決しながら、

な限り出向き、お礼を言わせていただき  
ました。

研究大会も終わりました。令和7年の  
新たな出発です。教育を取り巻く環境  
も、どんどん変わっています。それに  
なれ、愛媛県教育会の在り方も変化を余儀  
なくされています。ですが、子どもた  
ち・先生方の支えとなるとともに、公益  
財団法人としての目的を達成すべく、  
日々努力を重ね、事業を充実させていき  
たいと思っています。

しかし、愛媛県教育会だけでは全ての  
ことがうまくいくわけではありませ  
ん。各地区教育会との連携・協力が  
必要です。そのためには、会員の皆様のま  
すのご支援・ご協力をよろしくお願い  
いたします。

今年が、愛  
媛県教育会と  
会員皆様にと  
とって、乙巳  
の年になりま  
すことを心よ  
り願っています。



書画 提供  
氏松岡紀雄氏  
池楽齋氏

## 聞 び 響

昨年10月末、何十年ぶりかで広島県安芸の宮島まで足を延ばした。変化に驚いたことが二つ。フェリー乗りの場の整備と外国人の多さ。平日だったからか

もしれないが、ほぼ9割が外国人観光客であり、様々な言語が飛び交っている信じがたい状況であった。しかも、表参道商店街は歩くのも苦勞するほどの人数▼10年ほど前、大阪に出張したとき、ホテルのエレベーターで日本人夫婦に「何階ですか」と尋ねたところ「やっと日本語が聞けた」と返ってきた。自分も同じ思いで意気投合したことを思い出す▼インパウンドは順調に伸び、令和元年度に外国人観光客は3,100万人を超えた。その後、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、令和5年度の訪日客数は2,500万人を超えている▼インパウンド効果の筆頭は数兆円規模の経済的恩恵である。また、日本の伝統文化に対する高評価は、その保護へとつながる。一方、オーバーツーリズム問題等が深刻化している現状もある▼外国人とのコミュニケーションの大切さは以前から言われているが「英語能力指数」24年版において日本は世界ランキング92位、過去最低を更新した。人口減少が進む日本がインパウンド増加を国益とするには、まず、外国人との意思疎通ができる国民の育成が喫緊の課題であると思う。

ひとこと

過去・現在・未来

〜今できること〜



愛媛県PTA連合会  
会長  
松本 司

「前人木を植えて後人涼を得」

このことわざは、私が人生で最も影響を受けたことわざであり、私の現在における社会教育活動や社会貢献活動、会社経営など様々な分野でその方向を指し示す羅針盤になっていると、言っても過言ではない。

何故、私がそんなに感銘を受けたのか。それは、このことわざの意味を捉えれば簡単明瞭である。意味は「昔の人の努力のおかげで今の人が楽をすることができることのたとえ」である。昨今の少子化による加齢的減少問題などを考慮すれば、この考え方が現

代を生きる私たちに課された喫緊の課題の打開に向けた糸口に成り得るだろうと考えたからである。この課題解決に取り組む姿勢こそが明るい未来社会を再構築するための大事な要因になる。

そこで、私は「人材育成」を考えの基礎に現在までの多くの活動をしてきた。その一つがPTA活動である。いくら生成AIが飛躍的に発達したからと言って、親の代わりに子育てはしてくれない。あくまでも補助なのである。だから、未来社会からの預かりものである大切な子どもたちの健やかな成長のために、私たち大人が手を携え、互いを敬い尊重し、日々本気で貪欲に学び、成長し合うことが必要ではないだろうか。などと私のような若輩が偉そうに述べることが、既に私の至らない点なのだろう。ということを自覚し、前人から頂いた今日を後人のためになるよう全力で生きようと思

学校紹介

No.254

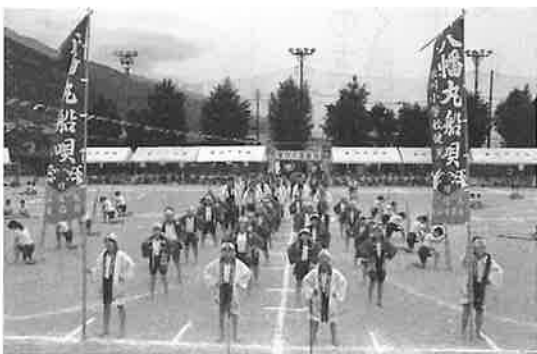
四国中央市立寒川小学校

地域の方々と共に

「八幡丸舟唄、めでたいの」

これは、四国中央市立寒川小学校の運動会で、昭和58年から高学年の表現種目として引き継がれている八幡丸舟唄の初めの部分である。八幡丸舟唄とは、室町期以前の発祥とされる市指定無形民俗文化財であり、その八幡丸舟唄を児童が唄い、それに合わせて和太鼓や竹筒、篠笛を演奏したり、船出する舟や波の様子を表したりする表現種目である。

運動会が近づくと、高学年の担任や音楽主任はこの八幡丸舟唄の指導のため、パートごとに分かれて過去の動画や資料を何度も確認し指導に備えるが、一番難しいのは唄の指導である。なぜなら、八幡丸舟唄は秋祭りに運行する舟太鼓のか



き夫たちによつて口頭で伝承されてきたものだからである。それゆえ、唄の指導には地域の方の協力が欠かせない。

今年も運動会練習の初日から、八幡丸舟唄保存会の方が唄担当の子どもたちに指導をしてく

ださった。ご高齢にもかかわらず、毎回学校に足を運び、熱心に指導してくださり、とてもありがたかった。子どもたちは、声をからすほど一生懸命練習し、本番を迎えた。同じように、唄以外の子どもたちもそれぞれのパートに責任をもち、懸命に練習を重ね、自分のパートに誇りをもって取り組んだ。

運動会当日、高学年の表現種目には、子どもたちと一緒に八幡丸運営委員会や地域の方も法被を着て参加してくださった。保護者や地域の方々も毎年楽しみにしており、カメラやビデオを手に熱心に観覧していた。八幡丸舟唄の演技を通して、寒川小学校の子どもたちと地域の方々が一休となる感動的な光景であった。

寒川小学校は令和2年度よりコミュニティ・スクールとなったが、それ以前から八幡丸舟唄をはじめ、見守り活動や読み聞かせ、防災学習、学習サポートスタッフ等、地域の方々の力を様々な場面でお借りしながら日々の教育活動を行ってきた。また、地域の盆踊りや秋祭りなど地域の行事も充実し、その全てにおいて「地域の宝である子どものため何かできることはないか」という視点で活動してくださる方が多数おり、大変有り難い。

寒川小学校は、これまでも、そして、これからも、地域の方々と共に子どもたちを守り育てる学校であると日々感じている。温かい人々に支えられ、共に子どもたちを愛情深く育てられることに感謝している。

(教頭 一柳 直宏)

題字に寄せて

和顔愛語



吉田立町北 諭 涼香  
教諭 亀井

この四字熟語は、私が少年の日の行事で誓った言葉で、毎年2月頃になると思い出します。

「和顔愛語」には、「和やかな笑顔と思ひやりのある話し方で人に接する」という意味があります。あの頃は、「穏やかな笑顔でこれからも人と接していきたい」という安直な気持ちでこの四字熟語を選びましたが、教師になった今、この言葉の大切さをひしひしと感じています。生徒はもちろん先生方や、地域の方々など、誰に対しても信頼関係を築くためには「笑顔と思ひやり」が大切だと感じています。

この言葉のような大人には、まだなれそうにない私ですが、これからこの言葉を大切にして過ごしていきたいです。

ふるさとに生きる

誰もが楽しくふるさとで



黒田 浩美先生

黒田浩美先生は、上浮穴郡の教職員として長い間教鞭をとられました。ご退職後は、民生主任児童委員、教育委員、社会福祉協議会理事などを歴任されました。また、愛媛県警少年サポーターとして25年間活動をされ、県警本部長賞を受賞されました。



訪問者 寺岡 続 樹  
(久万高原町立久万小学校長)

No.128

現在は久万高原町社会教育委員長として、町の発展のためにご尽力されています。社会教育委員は、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の人たちと関わることで、町をよくするための活動を行っています。ふるさとへのよさを感じ、ふるさとが大好きな子どもたちを育てることを目標とされ、学校との連携にも努められています。令和6年度、社会教育委員の皆さんは、久万高原町立七川小学校の田植えや稲刈りの活動に参加されました。これらの活動は、仕七川地区の住民で行うことで、地域住民との連携にもつながっています。

また、黒田先生はボランティア活動にもご熱心で

す。精神保健ボランティアの活動で「オッカリーナあつぷる」の世話役として11年目を迎えられています。既に47回の発表をされています。地元で、仲間と、生きがいをもって過ごしていく、という願いをもった障がいのある方への支援が認められ、グループは文部科学大臣賞を令和5年12月に受賞されました。



黒田先生は多趣味でもいらっしゃるようです。コーラスグループに20年近く所属されて、イベントの舞台上に立ち続けておられます。また、46年間、地元の読書会に所属され、読後感を語り合う活動も続けられています。いつまでも年齢を感じさせず、若々しく精力的な活動をされている黒田先生。これからも健康にご留意され、ふるさと久万高原町で活躍されることを願っています。

黒田 浩美 先生  
(久万高原町上野尻在住)



洋服の青山カード会員  
ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会では、洋服の青山と提携店契約を結んでいます。

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話(089)925-0555  
または 都市学校生活協同組合



学校生活協同組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

特集 私の夢 ―人生100年時代を生きる―

本の山に挑む



今治・越智教育会 OB 関 清剛

100歳まで生きられるほど健康的な生活をしてこなかった。私ごときが100まで世にはばかるほどずうずうしくもない。じゃ、残された時間で何をしようと考えた時、方々に乱雑に積まれた本の山が目に入った。そうだ、本だ。

若い頃は活字中毒だった。今でも情報中毒ではあるが、読書の時間は激減した。でも、本も本屋も昔と同じように好きだから昔のままに増えていく。今は「積ん読」とも言えないだろう。そんな新刊に加えて、何十年も捨てられない本や創刊から廃刊までそろった雑誌なんてのが秘蔵(笑)されていたりする。雑学・雑読・雑趣味だから(教育以外(笑))いろいろなジャンルがあつて、希少な本もありそうだが発掘されなきゃ意味はないし、メルカリみたいな所で勝手に値踏みされるのもイヤだ。定年後の妙に多忙な日々を言い訳に、本を読まなくなった。しかも、アル中は活字中毒より強かった。

「忙しいから読めない」と言い訳する人間は暇になっても読まない」という悪口は人には散々言ってきたが、気が付けば自分もそんな言い訳をしている。

新しい本・古い本…を開けば昔の自分に出会うのか、新しい自分を発見できるのか、この年からの出会いとしてはお手軽でいいかもしれない。残ったら回収業者に焼いてもらうだけ。何なら私も一緒に焼いてもらおうか。

と考えていたら気付いた。あ、CD・DVDの山もある。燃えにくそう…。

「対話」のある場作りを夢見て



松山市教育会 OB 亀田 勝豊

現職の時、私は「伝達」を目的にした平板な授業から「対話」を重視した立体的な授業へ転換しようとして、実践的な授業研究に取り組んだ。この研究過程で、「哲学対話」という市民活動があることを知り、その起源にアメリカで行われた「子どものための哲学」やフランスで始まった

「哲学カフェ」の実践があることを学んだ。

私はこの学びを退職後も続けて、「哲学対話」に関連する書籍を読んできた。そして、いつしか自分も「哲学対話」や「子ども哲学」を主催したいと思うようになった。でも、フルタイムの勤務を続ける中では、なかなか実現することは難しかった。

ところが、最近になってあるNP法人が職場の近くで「哲学カフェ」を開催していることを知り、何回か参加する機会を得た。多様な年齢や立場の人々による「対話」の豊かさを私は改めて実感し、今ではボランティアスタッフとして主催者側の立場で参加することも増えた。

古希の年齢を迎えた私だが、人生100年時代である。今のところ心身ともに健康なので、もう少し学校教育に関わる仕事をパートタイムで続けながら、平日の午後や休日等に地域の公民館を活用して「哲学対話」や「子ども哲学」を開催しようという構想を練っている。この実現が今後の人生における私の夢の一つである。楽しみ、楽しみ…。

今日も身体を動かして



東温市教育会 OB 菅 あけみ

人生100年時代と言われる現

教育の振興を目指す! 日教弘の3大事業: 教育振興事業, 福祉事業, 共済事業. 公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

教職員共済 総合共済 月掛900円で 12の保障. 1 業務遂行に起因する賠償責任を補償! 2 日常生活で発生した賠償責任を補償! 3 地震・自然災害による住宅損害も補償! 4 契約期間1年以上で退職時にも共済金!

在、76歳。  
「ただのおばさんになります。」と言って定年退職してから15年。あつと言う間に、しっかりおばあさんになりました。

退職して、愛護センターから保護犬を譲り受け、犬と共に家庭犬の訓練を受けていました。

「ただのおばさん」になつたはずが民生主任児童委員に任命され、児童の見守り活動を開始。「おばさんが一人で立っているより、犬と一緒にの方が安心できるかな」と始めて15年。今は二代目、三代目のゴールデンと見守りをしています。

「セラピー犬」としても訓練し、老人ホームや障がいのある方の施設に訪問活動、11年。県警の犯罪被害にあわれた方のセラピー4年。

週に2、3日は、セラピー活動、トライアルのための訓練を犬とともに楽しんでいきます。

他に、15年前から、野村シルク博物館へ行き繭から糸を紡ぎ、草木染をして着物や帯、シヨールを織っています。自分の物だけでなく、家族の着物や帯もたくさん織りました。また、現職の頃から好きだった木

ご冥福をお祈りします

濱田 忠雄様	81歳	新居浜市中村三八八	6・11
矢野 庄志様	87歳	今治市高橋甲三三一	6・11
下口 曠志様	82歳	宇和島市妙典寺前乙五四一	6・11
宇高ヒフミ様	100歳	今治市北日吉町二五六一	6・11
西川 弘志様	90歳	大洲市五郎乙三五	6・11
永井 吉彦様	80歳	西条市丹原町長野八六一	6・11
宇都宮和子様	96歳	松山市ひばりヶ丘一〇三〇	6・12
松本 均様	67歳	八幡浜市五反田一五五九	6・12

宇和海とともに



小吉田立市 宇和島市立吉田小 教頭 松下 哲也

彫も本格的に習って、小ダンスから鏡、手文庫、ブローチまで彫っています。  
空いている日は、愛犬のために無農薬野菜を作って犬友やご近所さんにお裾分け。  
「こんな人生が、ずっと続くといいな」と思う毎日です。今年も、よい年になりますように。

幼少の頃、父親に連れられて幾度となく訪れた宇和海、大きな魚を釣り上げるたびにうれしくて目を輝かせていたことを思い出す。中学生となり、釣りから部活へ興味が移り、釣竿を振ることも少なくなりました。

あれから40年近くが過ぎ、人生100年時代の折り返しに差し掛かっ

た頃、コロナ感染症の世界的な流行により、人との交流が制限されてしまった。「人と関わる事ができないのなら、また一人で釣りにでも行くか」と、ふと思ったことがきっかけで、再び竿を振るようになったのである。そして、宇和海の魅力が改めて知ることになったのである。

釣り糸を垂らして海を眺めると、気持ち穏やかになる（釣れない時は逆効果だが）。宇和海が見せる四季折々の姿が大好きで、時間があるときは、様々な場所へ出掛ける。少々の雨では、あきらめきれず、ザーザーと降る中、出掛けることもあった。生活の制限がなくなった今では、一緒に釣りを楽しむ先生方も増え、「由良半島でイカが釣れよるよ。」

「大アジ、真鯛にチャレンジしようや。」などとやり取りしながら、釣りの魅力を存分に味わっている。「2級船舶免許を取得したい」「龍のような太刀魚を釣りたい」と夢は膨らむばかりである。

これからも釣りを通して、人との関わりや自分の時間を大切にしたい。そして、近づきつつある第二の人生を存分に楽しみたい。

文教俳句

一俳句ポストより一

稽はや風呼ぶ丈となりけり	東温市	戒能 多喜
街路樹の梢より冬始まりぬ	東温市	戒能 多喜
雨去りて宵風の中虫すだく	松山市	池田 容子
秋彼岸草鞋新たな仁王門	松山市	池田 容子
雨垂れに零余子振り子のごとく揺る	松山市	遠藤 節子
ひいふうみいと数えて口に青蜜柑	松山市	遠藤 節子
ピアノカの音色に合わず秋の雨	松山市	遠藤 節子

感激の美に出会う

道後温泉駅から歩いて5分、閑静な住宅街に佇む美術館です。日本近代画壇を代表する画家たちの優品、日本画では横山大観・加山又造、洋画では小磯良平を中心とした絵画、そしてロダンの大理石彫刻《ファウナ（森の妖精）》など500点を所蔵しています。四季に合わせた展示で、地域の皆さまをはじめ道後を訪れる方々に心豊かなひとときを提供いたします。



上村 松園（沙くみの園）

〒790-0848 愛媛県松山市道後喜多町4-42  
TEL.089-945-5678 www.seki.co.jp/mus/  
■開館日：本曜日～日曜日（本日は休館）  
■観覧料：年間1回（1回）～年間5回（入館料は原価の30分まで）

セキ美術館 SEKI ART GALLERY

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から16%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払は給与引法となります。教員OBの方も口留保（一括払）で適用されます。



一引受保険会社一

- 東京海上日動火災保険（株）
- 損害保険ジャパン（株）
- 三井住友海上火災保険（株）

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089) 925-0555  
保険事業部担当まで

ふるさとスケッチ

No.483

サーフアーツ・パラダイズ



愛南町立御荘中学校 校長 加洲 景

今年の夏、愛南町中学生

海外研修派遣団の一員として、オーストラリアのゴールドコーストを訪れた。世界から人々が集まって、自分の価値観や自国の文化を大切にしながら、互いを尊重し合って仲良く暮らしている街であつた。多様性が当たり前に共存する開放的な雰囲気は、とても居心地がよかつた。そして、絶景のロケーションは、いろんなチャレンジを後押ししてくれた。いつの日か、もう一度訪れてみたい「心ふるさと」である。



祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

大西 修一様 88歳 元砥部町立砥部小学校校長 砥部町

森田 章夫様 88歳 元松山市立番町小学校校長 松山市

ローカルトピックス

佐田岬半島の新名所!

伊方出身の詩人高橋新吉が「象の鼻のようだ」と例えた佐田岬半島。その尾根を走る国道197号は、メロディーラインと呼ばれている。

周年を迎えたばかりだが、二つの海を同時に眺められるロケーションも好評で、リピーターも多い。

半島を後にする時にも、路上から郷愁を誘う音楽が聞こえてくる。「みかんの花がくらく咲いている」春先には、山桜でピンク色に染まる佐田岬半島に、ぜひお越しくださいませ。

(愛媛文教報編集協力委員 竹上 正也)

八幡浜市から西へ30分ほど車を走らせると、「海は広いなあ〜♪大きいなあ〜」と車道から音楽が聞こえてくる。そこから程なくして、「道の駅」の機能を備えた地域文化交流施設「佐田岬半島ミュージアム(さだミュージアム)」が見えてくる。

この半島は、北は瀬戸内海、南は宇和海に面している。そこに五十余りの集落が点在し、集落ごとに独自の文化を伝えてきた。「さだミュージアム」は、それらを集め、整理し、公開している。そのような常設展示だけでなく、さまざまな企画展も開催している。昨年8月に1



公益財団法人愛媛県教育会 ~編集出版部情報~ 【学習資料の編集・出版】



令和7年度の学習資料やテスト採用のご検討を!



「本県教師の手づくりによる学習資料」をモットーに、先生方の知恵とアイデアを結集し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの力をバランスよく育む学習資料を編集・発行しています。テスト類については、学校・学年単位での採用を基本としていますが、「もじのけいこ」「算数ドリル」「夏休み帳」等は個人購入にも対応しており、電子メディアの普及により学習環境が大きく変容している今、これらは毎日の学習習慣の定着や書く力の習得に大きな役割を果たしていると考えています。

当会が作成する学習資料が地域に根をおろした資料として、愛媛の子どもたちの確かな学びにつながるよう、これからも県下各地の先生方と共に充実に努めてまいります。

# 第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会の写真

(「えひめ教育の日」フェスティバル関係の写真は、8面に掲載)



開会式



大会会長挨拶



来賓祝辞



感謝状贈呈



全体会



次期開催地挨拶



表彰(シンボルマーク)



分科会①



分科会②

育った松山の町は第二次世界大戦前の街並みが残る、狭い路地が迷路のよう。既存の積み木に父親がかまぼこ板で作った積み木を加え、迷路で遊んでいた日々。姫路城についての本に出会い、天守に至る道が迷路のようで城に興味をもち、やがて松山城や各地の城巡りを開始。その中で日本画の存在を知り、美術大を受験。大学では個人的な作品が必要となり、迷路的な構成を持ち味として画



去る11月29日、約1000名が参加し、教育講演会が開催されました。イラストレーター・絵本作家等で著名な香川元太郎先生に「回りのすすめく迷路作家から子どもたちへのメッセージ」と題してご講演をいただきました。

## ◆教育講演会

会場には原画が数点展示され、鮮やかできめ細かい描写に心を打たれ、言葉を失っていた参加者の姿がありました。会場全体がすてきな香川ワールドに包まれました。ありがとうございました。

現代を生きる子どもたち、面白いと思ったことはほとんどんやろう。計画どおりにいかなくてもいい。それまでの経験を生かして次につなげていけばいいんだ。温かい人柄の中に熱いメッセージを感じる事ができたあつという間の90分でした。

壇デビュー。卒業後は舞台芸術の会社に就職。収入を補うために始めたイラストだが、偶然に城を描く仕事が入り、思い切って独立。結婚し、息子が6歳の頃、「お父さんも迷路を描いてよ。」と言われて迷路絵本の構想が誕生。教科書会社や地方自治体からの城や歴史考証イラストの制作依頼も増加。現在、絵本と歴史考証イラスト中心の仕事。回り道をしてよかったこと：迷路好きの子どもが絵本作家に。城好きの中学生が城イラストレーターに。日本画家としての技術を生かすことで創作した独自の世界。絵が描けてかつ城の知識をもつ画家として生じた希少価値。歴史の知識を生かした日本史・世界史の迷路絵本の執筆等々。

# 「えひめ教育の日」 推進フェスティバル

令和6年7月26日(金)、エスポワール愛媛文教会館において、第17回「えひめ教育の日」推進フェスティバルを開催しました。

今大会は第75回日本連合教育会研究大会愛媛大会と同時開催で、文部科学省初等中等教育局長、愛媛県知事、県外からの参加者を始め、約400名の参加者を迎え、盛會裏に終えることができました。午前中の講演では、俳優で武道家の藤岡弘、氏を迎え、「不透明な時代を生き抜く力を子供たちへ藤岡弘、生き様を語る」と題し、藤岡弘、氏が幼少期から今に至るまでの豊かな経験を基にした、熱い思いを語られました。



記念講演 藤岡 弘、氏

講師 俳優・武道家 藤岡弘、氏

午後からは、「えひめ教育の日」の取組をVTRで紹介しました。「愛のあるバナナ」の贈呈では、(株)松山青果社長の河内亮典氏から附属小6年生の代表に、バナナが贈呈されました。

ステージ発表は、附属小コーラス部の「歌う喜び、歌える喜び」と題した合唱が行われ、会場いっぱいに明るい歌声が響きました。続いて、県立松山北・今治西高等学校による、吟詠剣詩舞「長安懐古」唐代を彩る詩人たちが「が行われ、高校生のさわやかな中にも凜とした舞が印象的でした。

最後に、久谷地区伊予八百八狸保存会の皆さんによる、伊予八百八狸を創作歌舞伎にした舞踊が、披露されました。子どもたちが狸にふんし、色あでやかな踊りや、愉快で楽しい踊りを行いました。

また、会館の1階と2階では、松山北・松山東高等学校の展示発表と、松山商業高等学校の物産販売が行われ、県外からの参加者を始め多くの皆様が作品鑑賞や物品の購入をされていました。※フェスティバルの様子は、県教育会HPで紹介しています。  
(<https://ehime-kyouikukai.main.jp/>)



愛媛県立松山北・今治西高等学校



愛媛大学教育学部附属小学校



愛媛県立松山商業高等学校



久谷地区伊予八百八狸保存会



愛媛県立松山東高等学校



愛媛県立松山北高等学校

## 「えひめ教育の日」関連写真

「えひめ教育の日」関連写真の募集に、県下106園・校から作品をお寄せいただきました。その中から、「幼稚園・小学校の部」、「中学校・高等学校の部」の部門別に、それぞれ大賞1点、優秀賞4点を表彰しました。

### ◆大賞◆

幼稚園・小学校の部  
お菓子も愛顔も  
ゲットだけ大賞



松山市立浅海小学校

中学校・高等学校の部  
愛顔はマスクを  
越える大賞



愛媛県立東温高等学校

### ◆優秀賞◆

#### 〔幼稚園・小学校の部〕

- 久万高原町立畑野川幼稚園
- 四国中央市立小富士小学校
- 久万高原町立面河小学校
- 愛媛県立宇和特別支援学校
- 〔中学校・高等学校の部〕
- 新居浜市立別子中学校
- 松山市立久米中学校
- 内子町立五十崎中学校
- 愛媛県立長浜高等学校